

業 務 の 名 称	ETC2.0データの活用と評価を通じた次世代ETCの基本設計提案
業 務 概 要	<p>本委託研究は、次世代ETCシステムの基本設計提案を、ETC2.0データを活用したケーススタディによる要件抽出、新観測技術の実道実験、匿名化や外部データ連携技術等の開発を基に、必要とされる様々な要件を十分に満たし、かつ現行ETC2.0と連続性がある形で行うものである。</p> <p>令和3年度は、次世代ETCシステムの要件抽出を、追加ケーススタディの実施および過年度実施のケーススタディのフォローアップと、軌跡データと交通流シミュレーションを連携させた施策検討により行う。また、マップマッチング技術、匿名化技術、外部データ連携技術の開発を、過年度の成果を活用して行う。これらの成果と過年度の成果を統合して、次世代ETCシステムの基本設計案の提案を行う。</p>
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	<p>支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所長 天野 邦彦 茨城県つくば市旭1番地</p>
契 約 年 月 日	令和3年6月28日
契 約 業 者 名	国立大学法人東北大学
契 約 業 者 の 住 所	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号09
契 約 金 額 ( 税 込 み )	¥47,916,000
予 定 価 格 ( 税 込 み )	¥47,916,000-
随意契約によることとした理由	<p>本委託研究については、国土交通省道路局により設置された学識経験者等からなる新道路技術会議において、あらかじめ研究開発課題の公募を行い、同会議において審査基準に基づき審査された結果、平成31年3月、本研究課題及び委託先が選定されたものであり、令和2年3月及び令和3年3月に同会議で中間評価を行い、研究の継続が妥当であると評価されたものである。なお、本委託研究の評価結果等については、国土交通省道路局のホームページ等で詳細に公表されている。</p> <p>以上のことから、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、上記委託先と随意契約するものである。</p>
業 務 場 所	茨城県つくば市旭1番地
業 種 区 分	-
履 行 期 間 ( 自 )	令和3年6月29日
履 行 期 間 ( 至 )	令和4年3月18日
落 札 率	-
再 就 職 の 役 員 の 数	-
備 考	